

カラシナ/セイヨウアブラナ アブラナ科，一年生（越年生）

河川敷などにしばしば群生が見られ，本県の麦類ほ場においては，局地的に多発している。秋期に出芽し，越冬後に茎を伸ばして黄色い花(菜の花)を咲かせる。なお，タカナはカラシナの変種，ナタネはセイヨウアブラナと同種である。

発生期間	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	出芽	→					出芽			開花結実		



形態的特徴	両種ともロゼット状で越冬し，葉は羽状に分裂する(切れ込みは，セイヨウアブラナは大根程度，カラシナは大根より浅い)。春には茎が直立して，黄色い花(菜の花)を咲かせる。
生態的特徴	
化学的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ジントロアニリン系(トリフルラリン，ペンディメタリンなど)の除草剤に耐性があるので，ジントロアニリン系以外の成分を含む除草剤を使用する。 播種前の耕起で完全にすき込めない場合は，非選択性除草剤を散布する。(播種前に発生した個体が再生すると大型化し，多量の種子を生産する)
耕種的防除法	<p>耕種的防除</p> <ul style="list-style-type: none"> 播種前に発生した個体が再生しないように，耕起作業を丁寧に行う。